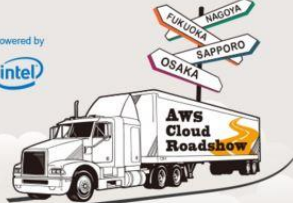


ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by



今さら聞けないAWSクラウド入門

2015年 11月4日 @福岡

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社

マーケティング本部

エンタープライズエバンジェリスト

渥美 俊英

Thank You!



フィードバックをお寄せ下さい

本イベントについてツイートされる際は、
ハッシュタグをご利用ください。

#AWSRoadshow

お帰りになる前には、アンケートへのご協力をお願いします。
引換用の記念品をご用意しています。



本日のアジェンダ

- 📦 AWSクラウドのご紹介
- 📦 広がるAWSクラウドユーザ
- 📦 AWSのセキュリティ
- 📦 AWSのことをもっと知りたい

AWSの起源は、Amazon社内の
“**ビジネス課題を解決**”するために生まれた
APIによる自動化テクノロジー



オンプレミス vs. クラウド



VS.



Start !

必要なインフラが数クリックで手配可能に (日本語で操作OK)

AWS サービス 編集

Hideki Ojima 東京 サポート

アマゾン ウェブ サービス

- コンピューティング
 - EC2 クラウド内の仮想サーバー
 - Lambda イベント発生時にコードを実行
 - EC2 Container Service Docker コンテナの実行と管理
- ストレージ & コンテンツ配信
 - S3 スケーラブルなクラウドストレージ
 - Storage Gateway オンプレミス IT 環境とクラウドストレージの統合
 - Glacier クラウド内のアーカイブストレージ
 - CloudFront グローバルにコンテンツ配信ネットワーク
- データベース
 - RDS マネージド型のリレーショナルデータベースサービス
 - DynamoDB 予測可能でスケーラブルな NoSQL データストア
 - ElastiCache インメモリキャッシュ
 - Redshift マネージド型のペタバイトスケールのデータウェアハウスサービス
- ネットワークング
 - VPC 独立したクラウドリソース
 - Direct Connect AWS への専用線接続
- 管理およびセキュリティ
 - Directory Service クラウド上の管理型ディレクトリ
 - Identity & Access Management アクセスコントロールとキー管理
 - Trusted Advisor AWS クラウド最適化エキスパート
 - CloudTrail ユーザーアクティビティと変更の追跡
 - Config リソース設定およびイベントリ
 - CloudWatch リソースとアプリケーションのモニタリング
- デプロイ & マネジメント
 - Elastic Beanstalk AWS アプリケーションコンテナ
 - OpsWorks アプリケーション管理サービス
 - CloudFormation テンプレートによる AWS リソース作成
 - CodeDeploy 自動デプロイ
- 分析
 - Elastic MapReduce マネージド型 Hadoop フレームワーク
 - Kinesis ビッグデータストリームのリアルタイム処理
 - Data Pipeline データ駆動型ワークフローに対するオーケストレーションサービス
 - Machine Learning すばやく簡単にスマートアプリケーションを構築
- アプリケーションサービス
 - SQS メッセージキューサービス
 - SWF アプリケーションコンポーネントを選択させるワークフローサービス
 - AppStream 低レイテンシーのアプリケーションストリーミング
 - Elastic Transcoder 使いやすいスケーラブルなメディア変換サービス
 - SES E メール送信サービス
 - CloudSearch マネージド型検索サービス
- モバイルサービス
 - Cognito ユーザー ID およびアプリケーションデータの同期
 - Mobile Analytics 大規模なアプリケーションの使用状況データの把握
 - SNS プッシュ通知サービス
- エンタープライズアプリケーション
 - WorkSpaces クラウド内のデスクトップ
 - WorkDocx セキュアなエンタープライズ向けストレージおよび共有サービス
 - WorkMail プレビュー セキュリティ保護された E メールとカレンダーサービス

リソースグループ

リソースグループは、1つ以上のタグを共有するリソースのコレクションです。お客様のアカウントの各プロジェクトのグループ、アプリケーション、環境の作成

[グループの作成](#) [タグエディター](#)

その他のリソース

はじめに
サービスを初めて使用する手順やさらに詳しい使用方法については、ドキュメントを参照してください。

[AWS Console モバイルアプリ](#)
Amazon アプリストア、Google Play、または iTunes から入手可能な AWS コンソールモバイルアプリを使用して、出先でリソースを表示します。

[AWS Marketplace](#)
ソフトウェアを検索して購入し、1-Click で起動し、時間単位で料金を支払えます。

[AWS Summit - サンフランシスコ](#)
詳細については、サンフランシスコで開催される AWS Summit で発表予定のエキサイティングな新規サービスや機能をご確認ください。

サービス状態

数クリックで
サーバが利用できる？

実際にご覧にいます

必要なインフラが数クリックで手配可能に

The screenshot shows the AWS Management Console interface. On the left, the 'コンピューティング' (Computing) category is highlighted in the sidebar. An orange arrow points from this category to the 'EC2' service in the main content area, which is also circled in orange. The 'EC2' service is described as 'クラウド内の仮想サーバー' (Virtual server in the cloud). Other services listed include 'EC2 Container Service', 'Elastic Beanstalk', and 'Lambda'.

「クリックで選択」

- ✓ OS
- ✓ サーバースペック
- ✓ リージョン(国)
- ✓ セキュリティ設定



アマゾン ウェブ サービス

コンピューティング

- EC2**
クラウド内の仮想サーバー
- EC2 Container Service**
Docker コンテナの実行と管理
- Elastic Beanstalk**
ウェブアプリの実行と管理
- Lambda**
イベント発生時にコードを実行

ストレージ & コンテンツ配信

- S3**
スケーラブルなクラウドストレージ
- CloudFront**
グローバルなコンテンツ配信ネットワーク
- Elastic File System** プレビュー
EC2 向け完全マネージド型ファイルシステム
- Glacier**
クラウド内のアーカイブストレージ
- Import/Export Snowball**
大容量データの転送
- Storage Gateway**
オンプレミス IT 環境とクラウドストレージの統合

データベース

- RDS**
マネージド型リレーショナルデータベースサービス

開発者用ツール

- CodeCommit**
プライベート Git リポジトリ内のコードの保存
- CodeDeploy**
コードデプロイの自動化
- CodePipeline**
継続的な配信を使用したソフトウェアのリリース

管理ツール

- CloudWatch**
リソースとアプリケーションのモニタリング
- CloudFormation**
テンプレートによるリソースの作成と管理
- CloudTrail**
ユーザーアクティビティと API の使用状況のトラッキング
- Config**
リソースのインベントリと変更のトラッキング
- OpsWorks**
Chef を用いたオペレーションの自動化
- Service Catalog**
標準化された製品の作成と使用
- Trusted Advisor**
パフォーマンスとセキュリティの最適化
- セキュリティ & アイデンティティ**
- Identity & Access Management**
ユーザーアクセスと暗号化キーの管理

IoT

- AWS IoT** ベータ
デバイスをクラウドに接続

モバイルサービス

- Mobile Hub** ベータ
モバイルアプリの構築、テスト、モニタリング
- Cognito**
ユーザー ID およびアプリケーションデータの同期
- Device Farm**
Cloud 上の実際のデバイスでの Android、Fire OS および iOS アプリのテスト
- Mobile Analytics**
アプリケーション分析の収集、表示、エクスポート
- SNS**
プッシュ通知サービス

アプリケーションサービス

- API Gateway**
API の構築、発行、および管理
- AppStream**
低レイテンシーのアプリケーションストリーミング
- CloudSearch**
マネージド型検索サービス
- Elastic Transcoder**
使いやすいくスケーラブルなメディア変換サービス
- SES**
E メール送信サービス

リソースグループ

リソースグループは、1 つ以上のタグを共有するリソースのコレクションです。お客様のアカウントにあるプロジェクト、アプリケーション、環境それぞれのグループを作成してください。

[グループの作成](#)[タグエディター](#)

その他のリソース

[はじめに](#)

詳細はドキュメント、AWS についてさらに詳しくはトレーニングを参照してください。

[AWS Console モバイルアプリ](#)

Amazon アプリストア、Google Play、または iTunes から入手可能な AWS コンソールモバイルアプリを使用して、出先でリソースを表示します。

[AWS Marketplace](#)

ソフトウェアを検索して購入し、1-Click で起動し、時間単位で料金を支払えます。

[AWS re:Invent での新製品発表](#)

[AWS re:Invent](#) での新製品発表
次世代のAWS クラウドサービスを一挙

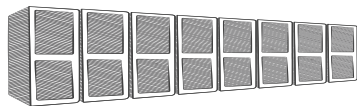
既存の概念をクラウドサービスで置き換え



データセンター



リージョン
アベイラビリティゾーン



サーバー



Amazon EC2



ストレージ機器



Amazon S3 / Amazon EBS / Amazon EFS



テープ装置



Amazon Glacier

初期費用不要・低額な利用料金

仮想サーバー
EC2



= 約3円～ / 時間

ストレージ
EBS、S3



= 約4円～ / 1GB / 1ヶ月

データ転送



= 約17円 / 1GB
(上りは無料)

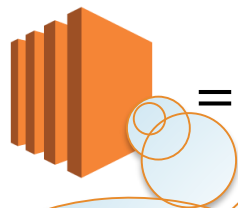
- ✓ データセンター費用
- ✓ インフラ構築費用
- ✓ 電気代
- ✓ 物理ファシリティ
- ✓ セキュリティ
- ✓ 仮想基盤運用保守
- ✓ センター運用費用

**これらの費用が
全て含まれます**

※1ドル=120円で計算

初期費用不要・低額な利用料金

仮想サーバー
EC2



= 約3円～ / 時間

ストレージ
EBS、

データ転送

夜間、週末など
時間単位で停止すれば
更にコスト削減

(上りは無料)

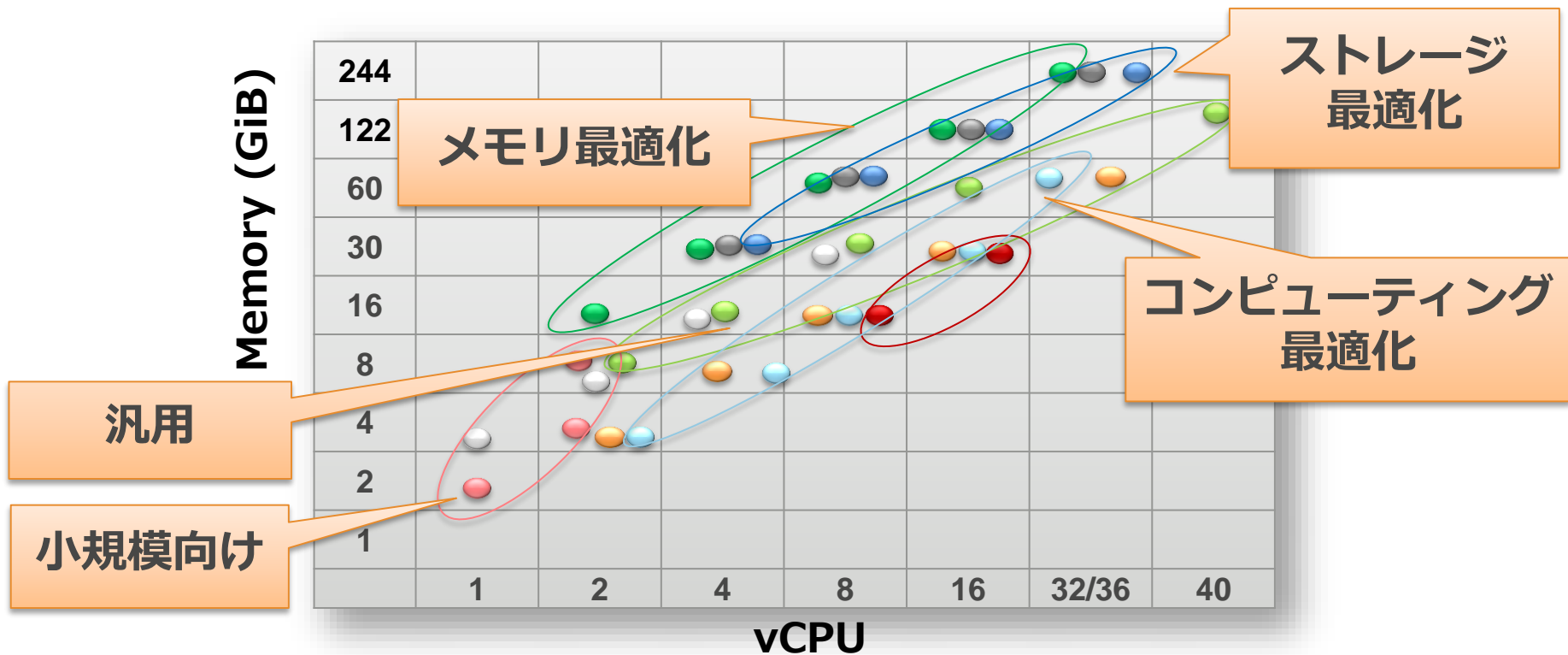
- ✓ データセンター費用
- ✓ インフラ構築費用
- ✓ 電気代
- ✓ 管理ファシリティ
- ✓ セキュリティ
- ✓ 基盤運用保守
- ✓ データセンター運用費用

これらの費用が
全て含まれます

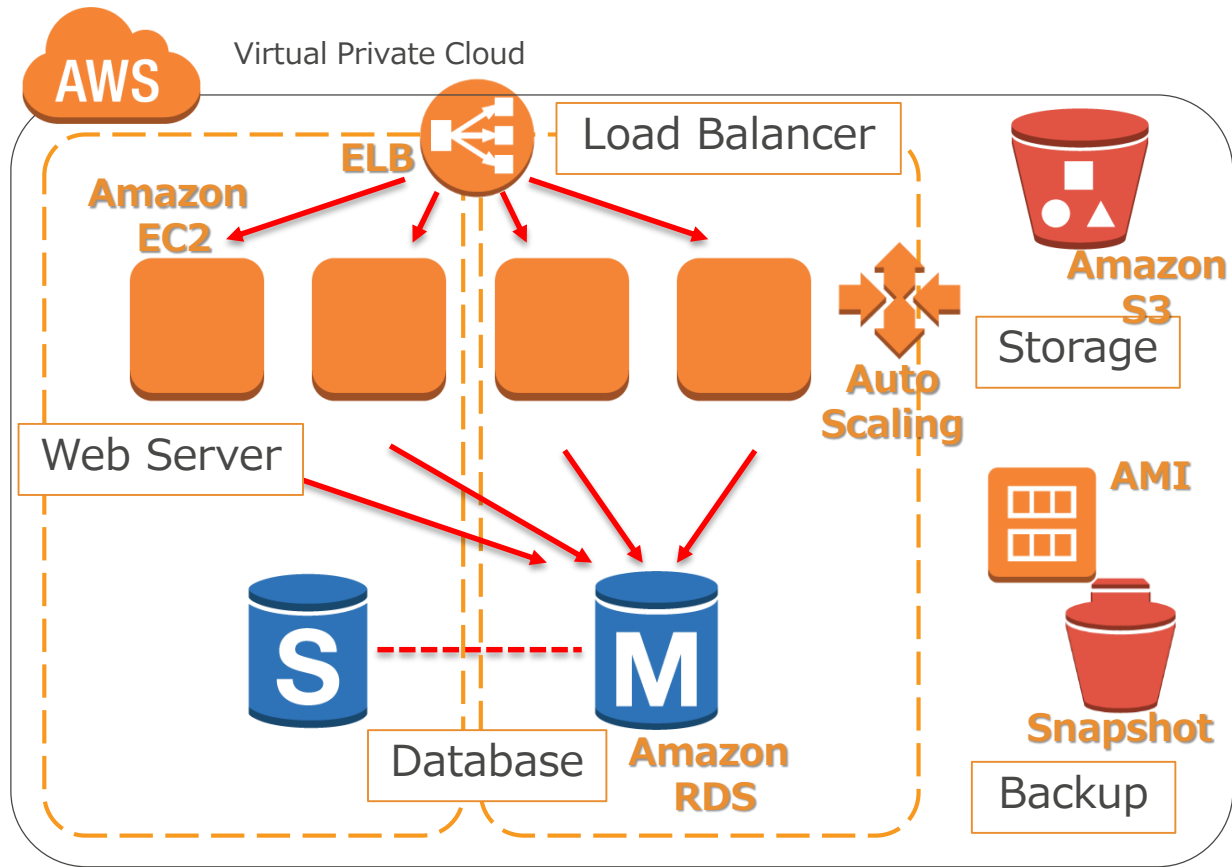
※1ドル=120円で計算

Amazon EC2の種類

用途に合わせたインスタンスタイプが選択可能



基本のシステム構成 – AWS上の一般的なウェブシステム



Administrator

- **Amazon EC2**
仮想サーバーサービス
- ELBでネットワーク負荷分散
- Auto Scalingで自動的にスケールアウト / スケールイン
- **Amazon RDS**
マネージドRDB
- 異なるDCに同期レプリケート
- **Amazon S3**
マネージドオンラインストレージ
- 高い堅牢性、99.999999999%
- **AMI (マシンイメージ)**
同一構成インスタンスを複数作成
- **Snapshot**
仮想ディスクのバックアップ




40以上のAWSサービス群

お客様のアプリケーション



ライブラリ & SDKs Java, PHP, .NET, Python, Ruby	管理インターフェイス Management Console, CLI	認証とログ IAM, Cloud Trail, Cloud HSM, Config	ディレクトリ Directory Service	モニタリング Cloud Watch, Trusted Advisor	コード管理 CodeDeploy, CodeCommit, CodePipeline	デプロイと自動化 Elastic Beanstalk, Cloud Formation, OpsWorks
--	--	---	------------------------------------	--	--	---

 エンタープライズアプリケーション WorkSpaces, WorkDocs, WorkMail	 モバイルサービス Mobile Analytics, Cognito, SNS
---	--

 データベース RDS, DynamoDB, Redshift, ElastiCache	 アプリケーションサービス AppStream, Cloud Search, SWF, SQS, SES,	 分析 Elastic MapReduce, Kinesis, Data Pipeline
--	---	---

 コンピュート処理 EC2, Auto Scaling, Lambda Elastic Load Balancing, EC2 Container Service	 ストレージ EBS, S3, Glacier, Storage Gateway	 コンテンツ配信 CloudFront
--	--	--

 ネットワーク VPC, Route 53, Direct Connect
--

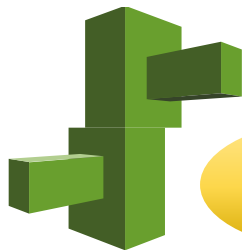
 グローバルインフラ リージョン、アベイラビリティゾーン、エッジロケーション	
---	---

ユーザがやりたいことは
アプリケーションの開発

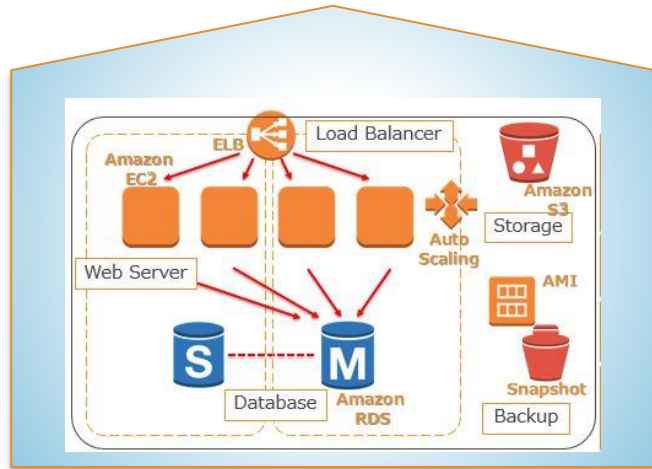
AWSクラウドの価値は
インフラから開発の俊敏化へ

アプリケーションさえ書けば、クラウド利用可能

Amazon Elastic Beanstalk



Start !



- ❏ サーバー、ストレージ、DB、LBの一式が、数クリックで配備。
- ❏ Java、.NET、PHP、Node.js、Python、Ruby、GO、Dockerのウェブアプリがそのまま稼働

広がるAWSクラウドのサービス

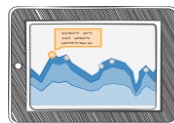
仮想デスクトップ°



モバイル向けサービス



Amazon
Cognito



Amazon
Mobile Analytics



Amazon
Mobile SDK



Amazon SNS
プッシュ通知

ビッグデータ + リアルタイム



Amazon Elastic
MapReduce



Amazon Redshift



Amazon
Kinesis

仕事のメールもカレンダーも文書共有も 手元のデバイスで！



サーバ管理不要
お手元の
タブレットが
業務用の
Windows環境に！



本日のアジェンダ

📦 AWSクラウドのご紹介

📦 広がるAWSクラウドユーザ

📦 AWSのセキュリティ

📦 AWSのことをもっと知りたい

AWSクラウドを利用するお客様：20,000以上



ERPも on AWS で、数百の事例

MISAWA

ケンコーコム
kenko.com

通 日本通運
NIPPON EXPRESS

NOEVIR HOLDINGS

UMC

TIETECH

広島大学

KYOWA KIRIN

HOYA

三井物産株式会社

MKI

Anritsu
Discover What's Possible™

入船鋼材

Kellogg's

iDEA Consulting Inc.

スシロー

Combi

CRESCO

ANDERSEN
GROUP

Honda Logistics

KOMORI
Hando: Beyond Expectations

KYOEI STEEL

株式会社 日新
NISSIN CORPORATION

NIKKISO

SAP

WORKS
APPLICATIONS

ORACLE SuperStream

infor

powered by
amazon
web services

ERPも on AWS で、数百の事例

AWSクラウド利用のメリット：

**開発系、テスト系、本番系の環境を
必要な時に、必要な構成で利用**

オンプレでは、コスト高か、疑似環境

NETECH

ritsu
What's Possible™

RESCO

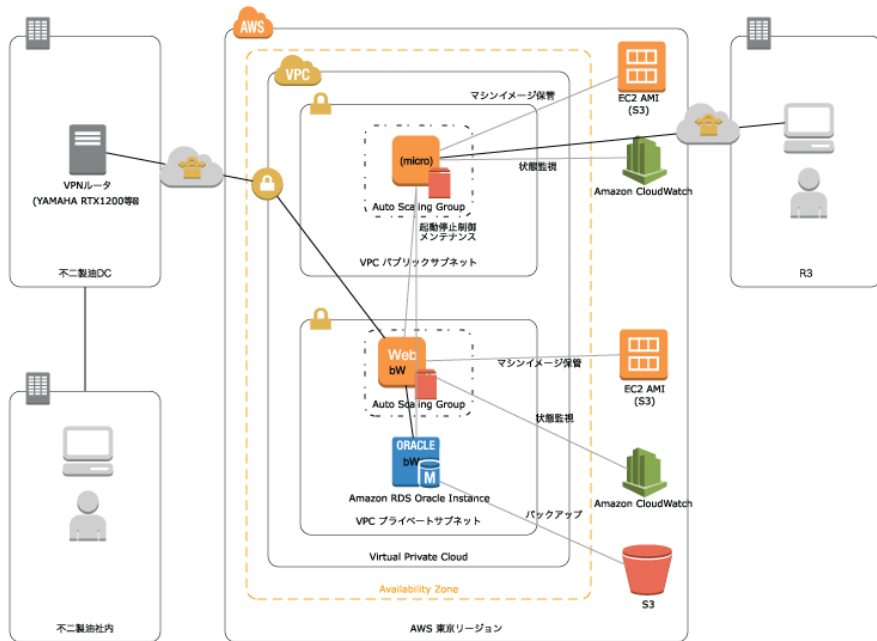
KISO

ered by
zon
rviceS

業務に必要な時にしか
起動しない、という
クラウド的な運用が広がる

利用時間以外はサーバを停止し大幅にTCO削減

VPCに対してVPN接続する場合の構成案



Supported by  R3 institute

二つとない、をつくる。

 不二製油

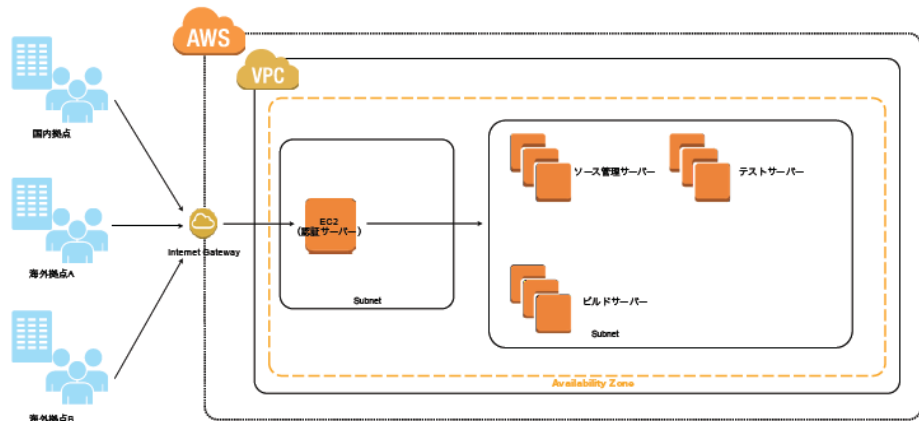
- 利用期間以外はサーバを停止
- 夜間もサーバを停止
- 稼働中は死活監視を行い、サーバ異常時には自動的にサーバを復旧
- サーバ停止時にすべてをバックアップ
- 手動でも一式を起動する仕組みも用意

月額：12,000円

(当初見積もり)

※Oracle, Windows Serverのライセンス込

協力会社とのセキュアな開発環境を低コストで運用



Supported by  TURN AND FRONTIER

MegaChips

- 他社（協力会社）とのLSI開発環境用として、**社外にセキュアな環境を構築**
- 時間、場所の制約に関係ない開発環境が提供でき、**効率的な開発を実現**
- VPCの利用で**構築、運用コストを圧縮**
- 自動的に**必要な時にサーバ起動、処理が終わればサーバを停止**

開発スピードが圧倒的に速くなるとともに、コスト圧縮を実現

仮想デスクトップ環境(VDI)をAWSで

AWS導入事例： ヤマハ発動機様



「もう以前のオンプレミスな環境には戻れないというのが正直な感想です。」

VDIのシステム更新に、AWSのサービス
Amazon WorkSpaces をご採用

オンプレミスからAWSサービスに全面移行

理由：低コスト、迅速に2か月で導入
評価も容易、パフォーマンス、安定性
今後も、運用容易、保守切れ対応から解放



AWS Cloud Roadshow
10/26 @名古屋 原子様ご講演

お客様の声：AWSクラウドのメリット

ご利用のユーザ様の多くからお聞きします。

- インフラの調達、保守、5年毎の更改からの解放
- クラウドの方が、セキュリティ、統制レベル向上
- オンプレ比で、小さなコストで短期間でDR対応
- 実際のコスト削減効果 ⇒ TCO40～60%削減

本日のアジェンダ

- 📦 AWSクラウドのご紹介
- 📦 広がるAWSクラウドユーザ
- 📦 AWSのセキュリティ
- 📦 AWSのことをもっと知りたい

AWSのセキュリティ、統制

- セキュリティはAWSにおいて最優先されるべき事項
テクノロジー、専門組織、プロセスに継続的に投資
- セキュリティと統制の要求が厳しい企業、組織の 要求、
ニーズに応じてきたサービスをご提供、利用料に込み



AWS共有責任モデル

お客様のアプリケーション・コンテンツ

OSより上は
ユーザ責任

ユーザ

ネットワーク
セキュリティ

サーバー(OS)
セキュリティ

データ
セキュリティ

アクセス
コントロール

AWS 基本サービス

コンピューート

ストレージ

データベース

ネットワーク

仮想基盤、
ハードウェア
データセンター
ネットワークは
AWS責任

AWS

グローバルインフラストラクチャ

アベイラビリティゾーン

リージョン

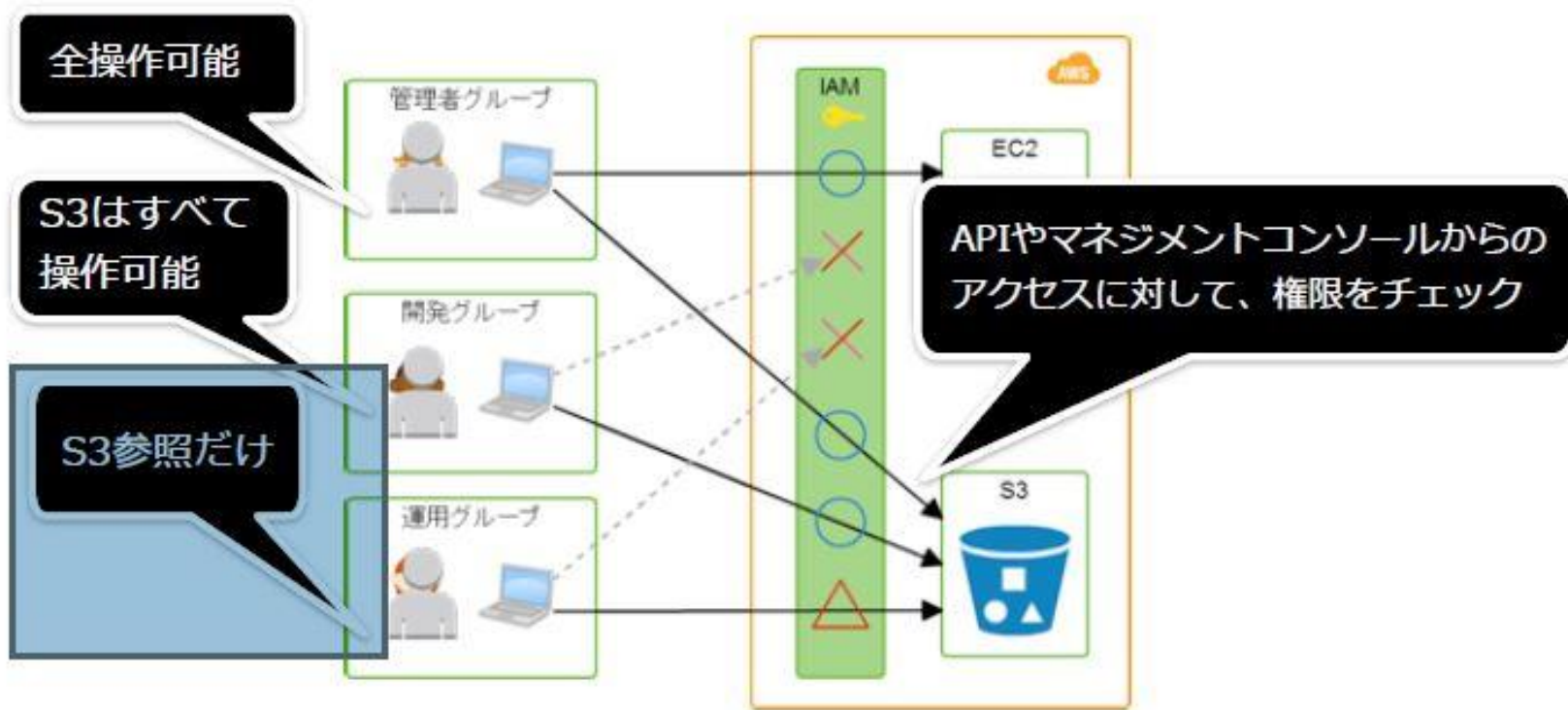
エッジロケーション



AWS Identity and Access Management (IAM)



AWS サービスおよびリソースへのアクセスを安全にコントロール



AWSのセキュリティ

- AWSは、EC2のOS以上にアクセスできません。
理由：インスタンス生成後の特権ユーザアクセスは生成時ユーザにのみ発行された電子証明書が必要

推奨：インスタンス生成権限を、IAMでユーザで権限分与
- OSの特権ユーザ権限をクラウド事業者が持つクラウドサービスとは、考え方が大きく異なります。

主要な認証/標準に準拠

SSAE 16/ISAE 3402、SOC1(旧SAS70)、SOC2、SOC3 監査報告書

ISO 27001、ISO 9001、PCI DSS Level 1

FISMA moderate、FedRAMP、HIPPA、ITAR、DoD(国防総省暫定認証) 等



SOC2監査報告書とは？



- 米国会計士協会(AICPA)の基準による保証型監査報告の制度
- SOC2は財務報告向け(旧SAS70)からクラウドに特化した基準
- 重要な統制項目を、AWS がどのように達成したかを、専門の監査人が実地で確認した監査報告書
- 半年毎に、繰り返し、継続的に、監査を現地で実施
- AWSユーザは、NDA締結によりSOC2をご受領いただけます
- サマリーを記したSOC3は一般公開されています

★ AWSの東京リージョンは、SOC2の対象です。

SOC2監査報告書の構成

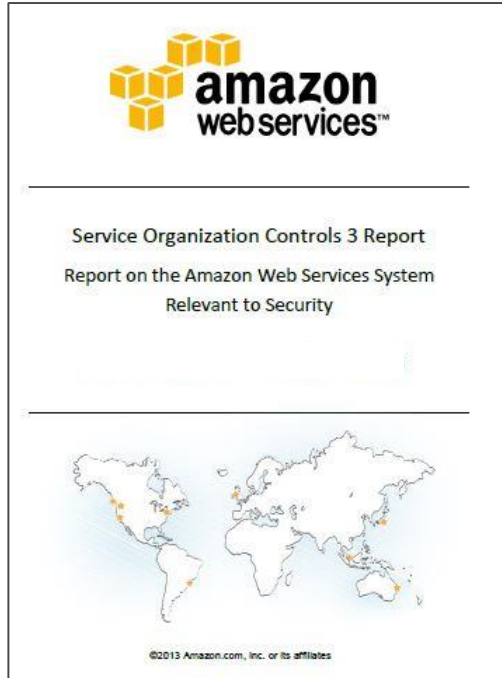


- SOC2 監査報告書の基本構成
 - 第Ⅰ章 監査人の意見
 - 第Ⅱ章 受託会社に関する確認
 - 第Ⅲ章 受託会社の内部統制に関する記述
 - 第Ⅳ章 監査が確認した内容と結果
 - 第Ⅴ章 その他の情報(任意)

セキュリティ、可用性、処理の整合性、機密性、プライバシーのクライテリアから、受託会社の内部統制に関して、AICPAの原則と基準に基づき監査

SOC3監査報告書(サマリ)

➤ SOC3 監査報告書(サマリ)は公開されています。



AWSのセキュリティ、統制の公開ホワイトペーパー (日本語)

- AWS リスクとコンプライアンス
- AWSセキュリティプロセスの概要
- DDoSに対するAWSのベストプラクティス 他

DDoS に対する AWS の

ベストプラクティス

2015 年 6 月

AWS セキュリティ ホワイトペーパー
<https://aws.amazon.com/jp/whitepapers/>

Amazon Web Services セキュリティプロセスの概要

2011 年 5 月



Amazon Web Services : セキュリティプロセスの概要

2011 年 5 月

(本書の最新版については、<http://aws.amazon.com/security> をご覧ください。)

アマゾン ウェブ サービス: リスクとコンプライアンス

2015 年 4 月



アマゾン ウェブ サービス: リスクおよびコンプライアンス

2015 年 4 月

(本書の最新版については、<http://aws.amazon.com/compliance/aws-whitepapers/>
を参照してください)

ページ 1 - 133



まとめ：AWSクラウド利用の効果

- 📦 **コスト削減**
- 📦 **ITの構築、運用が、楽にできる**
- 📦 **セキュリティ、統制が高度化**
- 📦 **よりビジネスへの貢献に注力できる**

本日のアジェンダ

- 📦 AWSクラウドのご紹介
- 📦 広がるAWSクラウドユーザ
- 📦 AWSのセキュリティ
- 📦 AWSのことをもっと知りたい

トレーニング、ユーザコミュニティで ラーニング環境も充実



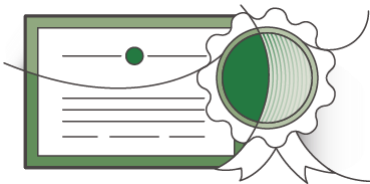
公式トレーニング

学ぶ



セルフペースラボ

自習



認定試験

資格

ユーザーコミュニティ

集う

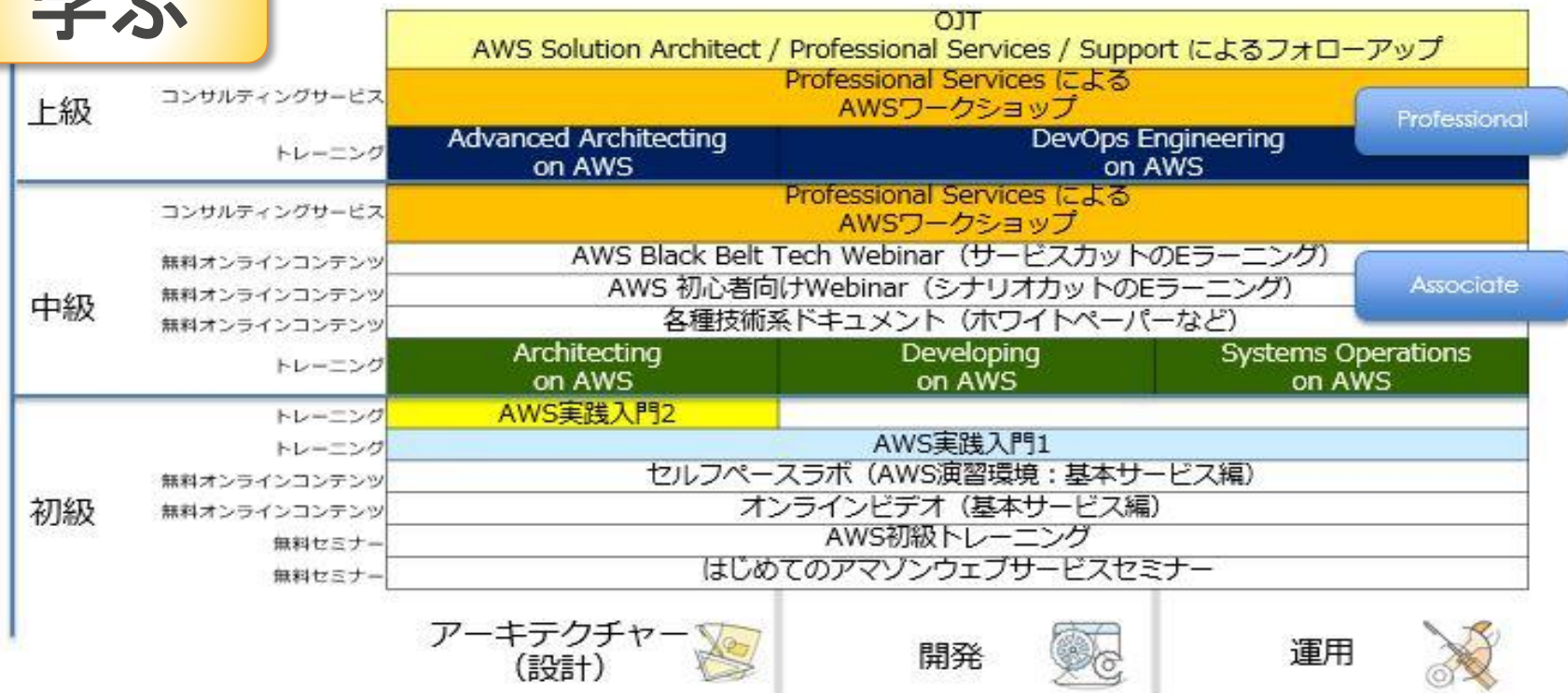


JAWS-UG =

Japan AWS User Group
全国50拠点以上で活動中

AWS知識レベルと習得ステップ

学ぶ

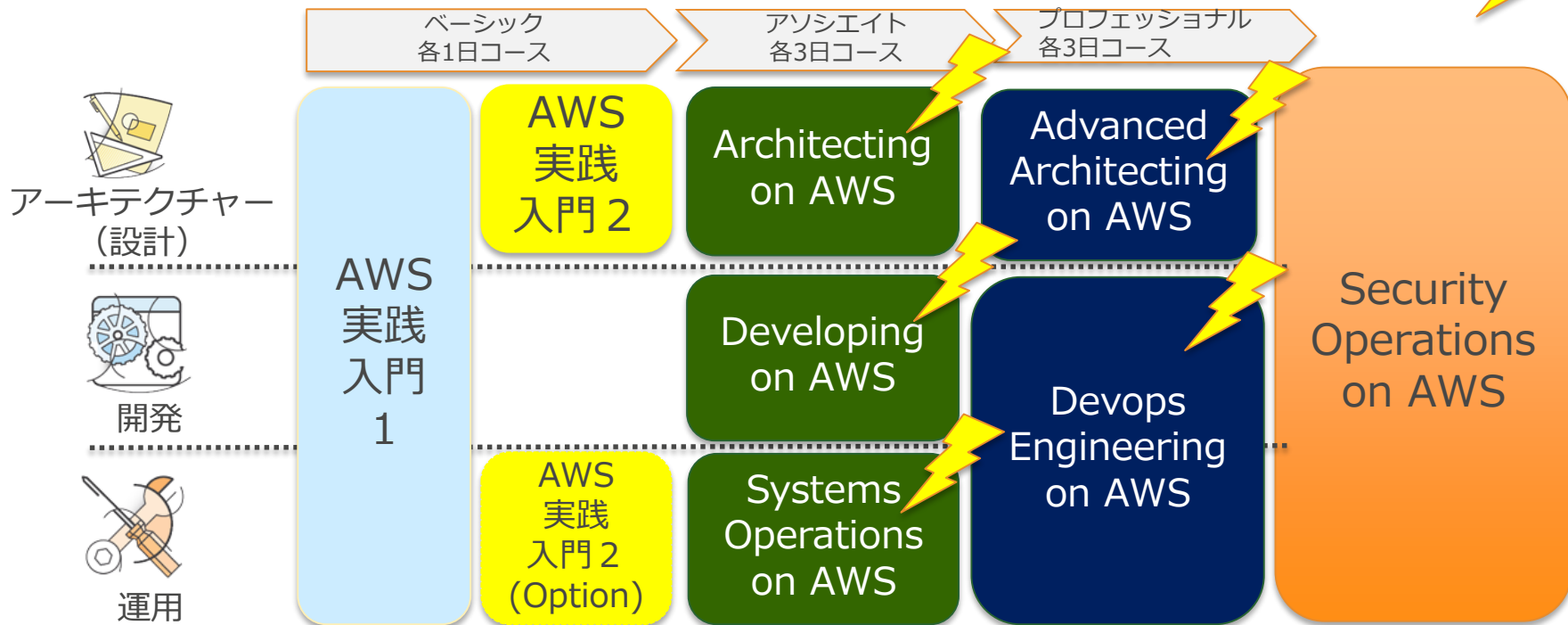


学ぶ

トレーニングコース設定

資格

1人当たり受講料金/1日 : 600ドル (税別)



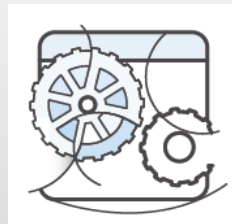
AWS技術証明の認定資格

資格

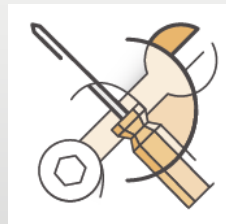
プロフェッショナル
レベル



AWS 認定
ソリューションアーキテクト
- プロフェッショナル試験



AWS 認定
Devops エンジニア
- プロフェッショナル試験



AWS 認定 SysOps
アドミニストレーター
- アソシエイト試験

アソシエイト
レベル

AWS 認定
ソリューションアーキテクト
- アソシエイト試験

AWS 認定
デベロッパー
- アソシエイト試験

アソシエイトレベル受験料金 : 15,000円 (税別)
プロフェッショナルレベル受験料金 : 30,000円 (税別)

クリック数回で「ITの新しい常識」

AWSに、是非、触ってみてください！

“AWS セルフスペース ラボ” 実機Web自習

The screenshot shows the QwikLABS website interface. At the top, there is a navigation bar with the QwikLABS logo, a menu with items like 'QWIKLABとは', 'ラボカタログ', '価格表', 'よくある質問', and 'お問い合わせ', a language dropdown, and a '新規アカウント作成' button. The main content area features a large banner with the text 'Real training, real-time, real environments.' and a description of the hands-on learning experience. Below the banner is a search bar for labs. On the right, a 'ラーニングクエストを見る' (View Learning Quests) panel is open, displaying a list of quests under the 'Amazon Web Services' category. The 'Compute & Networking' quest is highlighted, showing details such as '全ラボ: 7', 'ラボクレジットの合計: 64', and '合計時間: 03時:58分'. A yellow callout box with the text '自習' (Self-study) is overlaid on the right side of the page. At the bottom, there are four promotional banners: 'はじめましょう! QwikLABS + クエスト', 'QwikLABSとのパートナーシップについて', 'New AWS for Windows Lab Offer', and '無料ラボをお試しください'.

QwikLABS

QWIKLABとは ラボカタログ 価格表 よくある質問 お問い合わせ

言語

新規アカウント作成

Real training, real-time, real environments.

クラウドコンピューティングおよびソフトウェア技術のハンズオントレーニングを提供します。オンデマンドで、ご自分のペースに合わせて学習を進めることができます。豊富なラーニングクエストのラインナップからお選びください。

カタログ内のラボを検索する

ラーニングクエストを見る

Amazon Web Services

Service Area Use Case (Beginner) Use Case (Experienced)

Exam Prep AWS for Windows

Compute & Networking

In this quest, you'll learn to work with services related to Compute and Networking, including Amazon EC2, Amazon Elastic Load Balancing, and Amazon Virtual Private Cloud (VPC).	全ラボ: 7
	ラボクレジットの合計: 64
	合計時間: 03時:58分

全てのラボを表示

はじめましょう! QwikLABS + クエスト

QwikLABSとのパートナーシップについて

New AWS for Windows Lab Offer

無料ラボをお試しください

自習

“AWS セルフスペース ラボ” 実機Web自習

qwik LABS ダッシュボード ラボカタログ よくある質問 お問い合わせ クレジットの購入 受講者 アカウント 49399 サインアウト

Amazon Elastic Compute Cloud (EC2) 入門

ラボの評価: ★★★★★ 終了

Amazon Elastic Compute Cloud (EC2) 入門ラボガイド

Introduction to Amazon Elastic Compute Cloud (EC2) Instructions-- Commands in *.txt format

Amazon Elastic Compute Cloud (EC2) 入門ラボガイド

Amazon Elastic Compute Cloud (EC2) 入門ラボガイド

Amazon マシンイメージ (AMI) からの Amazon Linux の作成

最初の Amazon インスタンスの作成を開始するには、AWS マネジメントコンソールで Amazon Linux AMI を検索し、ウィザードを利用する必要があります。

1. AWS マネジメントコンソールに戻ります (ブラウザでまだ開いているはず)。
2. AWS マネジメントコンソールのホームページで、Amazon EC2 アイコンをクリックします。
3. [Instances] をクリックし、インスタンスを作成します。

接続 追加

ラボの接続方法
ラボに接続するコマンドストラク
ションをご参照ください

注意 このラボで使用して
る AWS リソースには、安全
中のハンズオンラボ、または
qwikLAB™ に関連しないテ
ラーフォーメーションを
実行しないことを
必ず

AWS マネジメントコンソール

AWSアカウント:
290406894

ユーザー名: awsstude

パスワード: M3nEdq9f

コンソールを開く

アクセスキー
アクセスキーを表示

接続情報
EC2 キーペアの秘密鍵:
PEM/PPK 形式でダウンロード

自習

AWS サービス 編集 awsstudent @ 2904

アマゾン ウェブ サービス

コンピューティング <ul style="list-style-type: none">EC2 クラウド内の仮想サーバーEC2 Container Service Docker コンテナの実行と管理Elastic Beanstalk ウェブアプリの実行と管理Lambda イベント発生時にコードを実行	開発者用ツール <ul style="list-style-type: none">CodeCommit プライベート Git リポジトリ内のコードの保存CodeDeploy コードデプロイの自動化CodePipeline 継続的な配信を使用したソフトウェアリリース	IoT <ul style="list-style-type: none">AWS IoT ハードウェア デバイスをクラウドに接続
ストレージ & コンテンツ配信 <ul style="list-style-type: none">S3 スケーラブルなクラウドストレージCloudFront グローバルなコンテンツ配信ネットワークElastic File System プレビュー EC2 向け完全マネージド型ファイルシステムGlacier クラウド内のアーカイブストレージImport/Export Snowball 大容量データの転送Storage Gateway オンプレミス IT 環境とクラウドストレージ	管理ツール <ul style="list-style-type: none">CloudWatch リソースとアプリケーションのモニタリングCloudFormation テンプレートによるリソースの作成と管理CloudTrail ユーザーアクティビティと API の使用状況のトラッキングConfig リソースのイベントリレーと変更のトラッキングOpsWorks Chef を用いたオペレーションの自動化Service Catalog	モバイルサービス <ul style="list-style-type: none">Mobile Hub モバイルアプリの構築、テスト、モニタリングCognito ユーザー ID およびアプリケーションデータの同期Device Farm Cloud 上の実際のデバイスでの Android、Fire OS および iOS アプリのテストMobile Analytics アプリケーション分析の収集、表示、エクスポートSNS プッシュ通知サービス
		アプリケーションサービス <ul style="list-style-type: none">API Gateway API の構築、発行、および管理AppStream 仮想レイテンシーのアプリケーションホスティング

“AWS セルフスペース ラボ” 実機Web自習

自習

クリック数回の
「ITの新しい常識」

AWSに、是非
触ってみてください！

8. AWS マネジメントコンソールのホームページで、Amazon EC2 アイコンをクリックし
9. [Instances] をクリックし、インスタンスを作成します。

“AWS セルフスペース ラボ” 是非、展示会場へ



参考情報

- 📦 AWSクラウドのメリットとは？
<http://aws.amazon.com/jp/what-is-cloud-computing/>
- 📦 AWSクラウドの利用開始方法
<http://aws.amazon.com/jp/getting-started/>
- 📦 AWSクラウド無料利用枠のご案内
<http://aws.amazon.com/jp/free/>
- 📦 AWSクラウドの製品（サービス）
<http://aws.amazon.com/jp/products/>
- 📦 AWSクラウド導入事例のご案内
<http://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/>
- 📦 国内のAWS関連イベント・セミナー情報
http://aws.amazon.com/jp/event_schedule/

